

事業所名

児童発達支援事業所りんりん

児童発達支援・支援プログラム

作成日

R7

年

1

月

20 日

法人（事業所）理念		＼いっしょに伸びる いっしょに笑う／・・・個々に合わせた支援方法で得意なことを伸ばし、笑顔で過ごせる環境を提供する。					
支援方針		・他者とのふれあいを大切にし、いきいきと自己表現しながら気持ちの交流ができるようにする。 ・一人一人の発達に合わせて基本的生活習慣、対人関係、言語やコミュニケーション、社会性などの力を伸ばす。 ・明るく温かい雰囲気作りを大切にし、お子さんの「できた!」「やってみよう!」という気持ちを大切にする。					
サービス提供時間		9 時	から	15 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・身体測定を定期的に行い、発育状況を把握する。 ・検温を毎日行い家庭と連携を取りながら健康状態を把握し、生活リズムを整える。 ・個々の発達状況に合わせた基本的生活スキル（排泄・食事・衣服の着脱等）の獲得を促す。 ・朝の体操をし、体力の向上を目指す。					
	運動・感覚	・戸外遊びやサーキット遊びなど全身を使った運動を通して体幹を養い、基本的な運動能力を高める。 ・ペグさし、トング遊び、シール貼りなど手先を使った遊びを行い、微細運動の発達を促し、日常生活動作につなげていく。 ・五感や固有受容覚・前庭覚等様々な感覚を育む遊びを行い、遊びの中で感覚統合を促していく。					
	認知・行動	・お子さんの認知の特性について理解を深め、こだわりや偏食、感覚の偏りから生ずる行動の困難に対する適切な対応支援 ・個別課題や集団活動を通して形・色・数・音の変化・大小・物の属性・重さ・空間・時間等の概念の形成を促す。 ・個々に合わせた環境調整（スケジュールボード等）を行い、適切行動への対応支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	・やりとり遊びを通して個々に合わせた声掛けや視覚支援を行い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を促していく。 ・表情や身振り、アイコンタクト等非言語コミュニケーションの理解や表出を促し、コミュニケーションの手段を広げていく。 ・絵カードや読み聞かせ、ペープサート等を通して語彙力を養い、ことばの発達を促す。 ・毎日の朝の会で「聞く姿勢」を身につける。					
	人間関係 社会性	・子どもの気持ちに十分寄り添い共感することで、安心感や信頼関係の土台を形成する。 ・遊びを通じて他者との楽しい関わりの経験を積み重ね、対人関係の芽生えを支援する。 ・一人遊びから集団遊びへ移行し、興味関心を広げて就園・就学先でスムーズに過ごせるための社会性の基盤を作る。					
家族支援		・療育時の様子の共有 ・親子イベントの開催 ・保護者面談 ・見学の機会の設定				移行支援	・移行支援シートを活用し、就園・就学先へ情報共有 ・必要に応じて支援会議や支援方針についての共有 ・就学相談や就園・就学に向けてのサポート
地域支援・地域連携		・こどもに関わる様々な分野の関係機関との連携 ・SNSやHPで事業所内容の発信				職員の質の向上	・内部研修や外部研修に積極的に参加し、発達支援に関する知識を獲得しスキルアップを図る。 ・定期的にミーティングを行い、充実したチーム支援を目指す。
主な行事等		・園外保育 ・野菜の苗植え ・プール遊び ・夏祭り（親子イベント） ・運動会ごっこ ・ハロウィン ・クリスマス会 ・節分 ・クッキング ・誕生日会 ・身体測定（毎月） ・親子リトミック ・買い物体験（年長児クラス）					